



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Ooiwa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe, Japan
 Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_yymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 K.C. Samuel (インド)
 フェローシップとインパクトで次の100年へ
- アジア太平洋地域会長 Shen Chi-Ming (台湾)
 新しい時代とともに、エレガントに変化を
- 西日本区理事 田上 正 (熊本むさし)
 原点を知り将来に生かす
 Know the origin and utilize it in the future!
- 六甲部部長 若林成幸 (宝塚)
 困難なときにこそYMCAと共に進もう
 Let's proceed with YMCA in difficult times
- 芦屋クラブ会長 大岩雅典
 主題 力を合わせて出来ることから始めよう
 Let's start with what we can do together

今月の聖句

聖書にはこう書いてあるのを読んだことがないのか。「家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。これは、主がなさったことで、わたしたちの目には不思議に見える。」

<マルコ福音書 12:10~11>

11月第1例会

と き: 2022年11月16日(水) 19:00~21:00
 と ころ: ホテル竹園芦屋
 司 会: 上野恭男ワイズ

1. 開会挨拶・点鐘 大岩雅典会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読・奨励 羽太英樹ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 上野恭男ワイズ
5. 食前感謝 島田 恒ワイズ
6. 会食・歓談
7. スピーチ 神戸ゆかりの美術館学芸員 辻 智美氏
 「白州次郎・白州正子=武相荘折々の暮らし展より」
8. 事務報告 大岩雅典会長
9. 各事業員報告 各事業委員
10. YMCA 報告 坂本孝司担当主事
11. ニコニコ報告 坂東幸子
12. 誕生日のお祝い 大岩雅典会長
 堤 清ワイズ、福原美鈴メネット
13. 閉会挨拶・点鐘 大岩雅典会長

- 会 長 大岩雅典
 直前会長 大岩雅典
 副 会 長 山口光一・福原吉孝
 書 記 柏原佳子・上野恭男
 会 計 羽太英樹
 監 事 上野恭男
 担当主事 坂本孝司
 六甲部広報委員 大岩雅典

11

Nov..., 2022
 305号

『ユースボランティア』

大岩雅典



コロナ禍において活動を大きく制限されているユースボランティア、コロナ前は高校生、大学生のボランティアさんたちと係わることが多く、活動を通じて顔なじみになり、ラインアプリで情報共有し、楽しくキャンプの画像や動画を交換しておりました。

僅か3年前の事なのにまるで別の世界で起こったことのように感じてしまいます。コロナもワクチン接種が進み世界的にも沈静化へ向かっております。この流れで元の世界に戻りユースボランティアさんたちとの交流が完全復活してくれることと思います。私たち芦屋クラブでも新しい取り組みとして教会で子ども食堂を始めようとしています。先月の2022年10月例会で山口光一ワイズより子ども食堂構想をお聞きしましたが、そのしっかりしたビジョンに感心致しました。実現したらしっかり協力させていただきたいと思います。そして当クラブでは長年開催してきた留学生交流会もあります。近年コロナで痛めつけられ断念してきましたが、またもこのように、若い世代の方々との交流が復活する日が楽しみです。

10月例会集計

第1例会出席メンバー		例会出席率		BF切手	
メンバー	14名	出席者	14名	累計	gm
ビジター	名	メイクアップ	1名	ニコニコ	
ゲスト	2名	合計	15名		
メネット	名	在籍者	17名	13,740 円	
コメント	名	(内広義会員1名)			
合計	16名	出席率	93.7%	累計	59,840 円

10月第1例会報告

日時：10月19日(水) 19:00~21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者：大岩雅典会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子
島田 恒・堤 清・中山豊美・羽太英樹・濱瀬真知子
坂東幸子・福原吉孝・増田知子・山光一(各ワ
イズ)、坂本孝司担当主事

ゲスト：奥田 実氏・大西 謙氏

コロナも少し緩和し、竹園ホテルでの例会はリアルな交流のある楽しい例会である。

開会点鐘、クラブソング斉唱、そして羽太メンによる聖句朗読といつも心に届くメッセージ。坂本連絡主事による食前感謝の後、食事と歓談。今月のゲストは奥田様・大西様で、慣れ親しんだ仲間というメンバーで和やかに進められた。今日のコースは値上がり後もっとも内容のよいディナー(上野メン)でステーキも供された。

今月のメンバーズスピーチは若手のホープ山光一メン、「共助の仕組みを芦屋から世界へ」というスケールの大きなテーマを、パワポを駆使して話された。「共助」は人間にとって欠かせ



ないものなのに、それが欠けがちになってきており、社会にとっても個人にとっても喫緊の課題であることを明かされた。山光一メンはさまざまな働きでその

解決に貢献しようとしており、その一端としてのこども食堂の現場状況を説明された(詳細は別途の山口寄稿を参照されたい)。質問も活発で学びと刺激のある機会となった。芦屋という現場において私たちひとり一人が自覚をもって共助に関わり、その姿勢が世界につながってよりよい世界をつくっていくことになることを教えられた。

事務報告、YMCA 報告、ニコニコ献金報告と続き、9 時ピツタリのテイクコ主義で楽しく学びのある例会は終了した。

島田 恒

初めてみなさまの前でしっかり時間を取ってお話させていただくということで、ワクワクしながら準備しておりました。塾講師の経験を活かし、政治家として歩む中で市民の方々に分かりやすく物事を伝えるのが私の役目だと思っていますので、みなさんがウンウンとうなずいて聞いてくださって大変嬉しく思いました。私の願い通り質問もたくさんしてくださって、わざわざ京都から私の話を聞きに来てくださった大西教授からは、後日追加で2点メールで質問していただき、感謝の気持ちでいっぱいでした。共助の仕組み、地域の助け合いというのはどんどん少なくなっています。自治会、子ども会、老人会は存在感が少なくなっていますが、子育ては大変になりますし、集まりが減ることは認知症の方の増加にもつながります。上野ワイズが老人食堂をやって欲しいとおっしゃっていたように、今や子どもだけのニーズではありません。人間関係が希薄となってしまってい

る現代においては、ネット上だけでない生の触れ合いが重要です。

数ヶ月後には、いよいよ私自身が教会で始められるような運びになろうとしています。普通に地域で行うもの以上に、つながりが深まれば伝道の働きにもなっています。日曜日だけでなく、平日や土曜日を含めて教会が地域のために用いられていけば、リバイバルにつながるでしょう。最初は小さな働きになるかと思っています。しかし仲間や賛同者が集まり、神様の大きな働きになっていくことを願います。

山光一



じゃがいもファンド奮闘記 XVIII

「じゃがいもの季節となりました。」で始まる秋の恒例行事、奮闘記Ⅰは2006年10月号に上野ワイズ、奮闘記Ⅱは11月号に故飯田ワイズが当時の様子を投稿されています。2005年夏、西宮クラブからお誘いを受け、「まずは50箱からやってみよう！」とその秋、濱メンの倉庫に集まりました。それから今年で18年、奮闘記XVIIIとなりました。

濱メンの倉庫には西宮クラブメン・メネット・西宮YMCAのリーダーが大勢集まり、芦屋クラブからも10名程が参加、コンテナから次々と10kg箱をリレーで降ろし倉庫に積み上げて行きます。皆で声を掛け合い、時には差し入れのおにぎりやお菓子を食べながら、和気藹々の力仕事です。

40年以上前、全国のワイズメンズクラブが十勝のじゃがいもをファンド事業とした頃は、1クラブで500箱、1,000箱を扱うクラブも多く、後発組の芦屋クラブはそれでも2年目には85箱とクラブ全員で頑張りました。

2012年には上野ワイズの提案で「インカめがめ」も加わり、その間、プリテンには故飯田ワイズ・福原ワイズ・柏原ワイズが時々の奮闘記を投稿しています。

さて、2020年のコロナ禍、大勢が密になり、声を掛け合い、食べ物や飲み物等、御法度なことばかり、長年続いた荷下ろし作業は出来なくなりました。

2020年からはポートアイランドの佐川急便倉庫で荷物を引取り配達、味気ないと言え、合理的にもなりました。初年度3万円くらいファンド金額も徐々に増え、2019年担当主事の三島氏加わったことで一気に9~10万円となり、今年も10万円位をクラブ会計に計上できそうです。(最終収支は次月号に掲載します。)

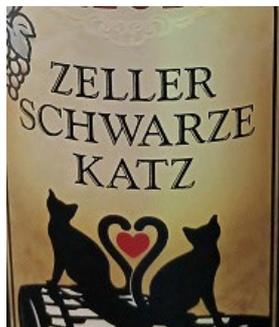
嬉しい事は、退会された元メンバーの飯田さん・井上さん・堀江さん・五十嵐さんが引き続き購入して下さる事です。また中山ワイズからは、ご自分は「要らないので、みどり作業所に」と1箱提供、今年増田ワイズも同様に。ワイズダムを発揮しながらクラブのファンド作りにメンバー全員が協力しています。

ファンド委員 桑野友子

魅せられて XX

◆久し振りに【ワインの話】を少々。地球温暖化による世界的混乱は増すばかり【干ばつ】【山林火災】の数々。この様な環境が続けばワイナリー事情も心配だ。◆上記とは関係ないが今年2月に、話題になった温かいニュースから一つ。2020年7月、日本の某ワイン輸入商社の社長さんに国際電話がかかって来た。30年来の付き合いがある【ドイツ西部・モーゼル地方のブドウ農園主】からだった。◆『コロナ渦で国内外のホテルやレストラン等が軒並み休業になり、ワインに換算すれば約2万5千本分の『ブドウ』の行き先(買い手)がなく困っている。』とのこと。◆日本側の社長は早速10数人の社員と話し合いその日の内に返事をした。『全部買取ります』◆自社売上も前年比6割減だったが30年来、家族同様の付き合いである農園を助けようと腹をくったそうだ。その時は『経験した事のない大きな取引だったが、ワインは保存がきくし時間をかけて売ればいい。』と社長は考えた。◆買い取ったブドウは現地(ドイツ)の馴染みの醸造所に頼んだ。ブドウ品種は【リースリング】(フランスとドイツの国境を流れるライン川の両岸で多く栽培されていてドイツワインの多くがこの品種。)又、フランス側でも【アルザス地方】の【リースリングワイン】は長い歴史を持っていて、和食にも凄く合うと私は思う。今回、社長はモーゼル・ドイツワインとして『食事に辛口に仕上げたい』と託した。

◆新銘柄の名前やラベルは自分たちで知恵を絞る【ドイツの有名銘柄(ツェラー・カツ)が【黒猫】写真→を使っている】それなら、こちらは【三毛猫】写真↓でゆこうとデザイン会社に相談し仕上げて貰ったとか。



◆やっと昨やっと昨年7月、ビン詰めを終えたワインが到着。社長が試飲をすると『要望通りの絶妙なバランスの辛口ワインに仕上がっていた』。その後、売上也順調で購入者からもドイツ・ワイン【ミケ・リースリング】は『可愛くて美味しく最高!』と好評だそうだ。『良かったですね。社長!』

◆コロナ渦で失われた【海外との絆】が新しく生まれた事も喜ばしく…。そして売上1本につき¥22円(ニャンニャン募金)を【動物愛護協会】写真↓に寄付されているとか。



◆今夜はいづれもホックリ温かい【利他の精神】に魅せられて乾杯だ。

篠坂幸彦

聖句 読み解き

連合艦隊司令長官、山本五十六の遺品に小さな英文バイブルがある。五十六は少年時代アメリカの宣教師の日曜学校に通っていたという。五十六は中学校を卒業すると江田島の海軍兵学校に入る。そこでも聖書を所持していたらしく、聖書を読む理由をめぐり学友と論争した話が伝えられている。五十六は1926年に在アメリカ合衆国日本国大使館付武官としてワシントンに赴任した。遺品の英文バイブルはこの在任中のものだろう。当時、同じ武官にはキリスト教信徒の武井大助もいた。戦後YMCA 同盟委員長にも就任している。五十六と武井は親しい関係があった。五十六は聖書に親しんだ片鱗はうかがうことはできるが、キリスト教信徒となることはなかった。1940年に日本がドイツ、イタリアと結んだ三国同盟には反対意見をいっていた。両国と手を結ぶことで、アメリカとの戦争になるおそれを抱いていたからである。日米間に緊張が高まるなか、日本の資力では勝敗は明らかとみて、五十六はアメリカとの戦争には消極的だった。しかし、その翌年には、連合艦隊司令長官として真珠湾攻撃の総指揮をとる立場になり、1943年軍用機に搭乗し南方戦線を視察中に撃墜され死亡する。(鈴木範久 著「聖書を読んだ30人 夏目漱石から山本五十六まで」より) 羽太英樹

篠坂ワイズとの昼食会

10月7日(金) 真夏日になる前からのお約束、涼しくなれば、ならばこちらからお尋ねしましょうという「ランチタイム」を実行いたしました。

その日はあいにくの小雨模様でしたが、板東、桑野、柏原の3人は千里阪急H前で早めに待機しています。と、傘をさされた篠坂ワイズが正面から歩いてこられます。姿勢良くしっかりと歩まれてこられる姿に少しホットした3人です。

メールからはご家庭のご事情以外にご本人ももっと体調を悪くされているのかと心配でしたが、そこはお洒落な篠坂ワイズの心意気かと! 少し離れた場所の「イタリアレストラン」も予約をして下さっていました。

ブリティッシュ9月号の「エッセイ」で「白州次郎展」を紹介下さいましたので「神戸ゆかりの美術館」を訪れました。閉館3日前のため、展示されていた愛車はすでの武相荘に戻されていたのは残念ですが、ゴルフ道具やヴィトンの旅行鞆、正子夫人の愛した焼き物、和装と多くの展示物を見ることが出来ました。学芸員 辻智美氏にお会い出来たのは幸いでした。その後、上野ワイズとの打ち合わせで11月例会のゲストスピーカを依頼することが出来ました。篠坂ワイズにとってもいいお土産話が出来たと嬉しかったです。「その日だけでもご自分を解放されて是非例会に出てこられませんか?」「行きたいなあ」涙が出そうでした。本当にいろいろなご事情がありなのであまり無理は言えません。

時間の経つのを忘れお店に追い出されるようにしてご自宅までお送りしました。インパクトある1日であったと思います。

柏原佳子

白洲次郎と正子をもっと知りたい！



主催：芦屋クラブ11月第1例会
日時：11月16日(水)19時～21時
場所：H・竹園芦屋 飛鳥の間
会費：3,850円
演題：白洲次郎・白洲正子一武相伝折々の暮らし展より
スピーカー：神戸ゆかりの美術館 辻 智美 学芸員
申し込み：柏原佳子書記まで

芦屋ワイズメンスクラブ

今月のスピーカー

辻 智美氏

神戸ゆかりの美術館学芸員

9月号掲載の篠坂ワイズのエッセイ魅せられて XVIII に興味を持たれた上野ワイズと柏原ワイズが開催中の「白洲次郎生誕120周年」を訪問、学芸員辻智美氏に今月のスピーチを依頼、神戸市市長の許可を得て実現しました。

9月第2例会議事録

場所：芦屋市民センター204号室

日時：10月26日(水)19:00～20:30

出席：大岩、上野、柏原、桑野、島田、羽太、板東、山口(各ワイズ)、坂本担当主事

◇例会について

- ・11/16 神戸ゆかりの美術館学芸員によるスピーチ「白洲次郎と正子」
- ・12/23 クリスマス祝会は Madoca.Yaguchi クワルテットで催行、オークションなし
- ・1/18 中島かおり県会議員(元タカラジェンヌ)を予定

◇その他の協議

- ・六甲部部会11/12 9名参加
- ・3月にメネット例会を開催する
- ・11/23(祝・水)チャリティラン開催するが、芦屋クラブの参加は未定
- ・羽太会計の9月会計報告を承認
- ・YMCA報告
日本語学校など生徒は戻ってきた。坂本担当主事 文責 上野恭男(第2書記)

YMCA ニュース

■神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科入学式

10月17日(月)に、神戸聖愛教会にて、2022年度秋学期の入学式が執り行われました。世界的な新型コロナウイルス



感染症の影響による入国制限もあり、これまで2年間は入学する学生が大きく減少をしていました。また入国することができず、多くの学生がオンラインで入学式に参列するという

状況がありましたが、ようやく学生たちが戻り始めています。今回は、30名の学生を迎え入れることができました。在校生と合わせて100名以上の学生が在籍することとなり、まだ指先消毒やマスクの着用など、学校内での感染対策は続きますが、学校にもにぎやかさが戻ってきました。

■YMCA 三宮会館秋まつり

10月29日(土)、秋晴れのもと、3年ぶりの神戸 YMCA 三宮会館秋まつりが行われました。

今回は、地域の方々、YMCAにつながる皆さまにお声かけをするのではなく、コロナ禍で交流が途絶えていた、上階のプランシエール神戸北野の入居者の方々、YMCAに集う専門学校の生、ワイズメンズクラブ、会員、スタッフとの交流を目的に開催いたしました。3時間という短い時間設定でしたが、プランシエール神戸北野レストランでの和太鼓で始まり、チャペルコンサート、各教室での展示や物品販売等、活気あふれる一日



となりました。今回の秋まつりは、一般の方の入場を制限いたしましたが、約200名が集いました。来年はさらに多くの方々と、交流ができることを願っております。

■第24回神戸 YMCA インターナショナルチャリティラン 参加者募集！大会に参加することが障がいのある子どもたちの応援になります。

【日時】2022年11月23日(祝・水)受付開始 9:10～
【場所】しあわせの村(神戸市北区)

【種目】①3.5kmラン ②1.2kmラン ③1.2kmウォーキング
【参加費】おひとり 1,000円以上

★参加費の一部が支援金になります。

【申込】こちらのフォームより、お申込みください、

<https://bit.ly/3RNHitk>

詳しくは、こちらのチラシをご覧ください。

<https://www.kobeymca.org/data/pdf/c-run2022.pdf>

■関西学院大学ウクライナコンサートに日本 YMCA 同盟横山氏が登壇します。

「ウクライナに平和を バンドウーラコンサートと講演会～長引く戦禍と支援現場から～」

関西学院で開かれる上記の講演会に、日本 YMCA 同盟で、ウクライナからの避難者の支援を続けている横山ゆりあ氏が登壇します。

日時：11月21日(月)15:10～16:50

場所：西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂
対象者：関西学院生徒、学生、教職員、一般
※ 入場無料、事前申し込み不要



編集後記：◆気持ちの良い秋晴れ、プロ野球は終わりましたが、サッカー・ラグビー・マラソン・フィギュアスケート・ゴルフも加えて秋から冬のスポーツをTV観戦の今日この頃です。
◆編集委員からのお願い：皆様どんどんと投稿下さい。原稿が少ない、文字数が足りない、写真が少ない、編集者泣かせです。と言う訳で今月号も遅くなってしまいました。じゃがいもファンドと同様、全員参加おねがいします。桑野